



海外インターネット通販で偽ブランド品が届いた

ブランドバックが欲しかったので、インターネットで検索していたら、格安で販売しているサイト(ネットショップ)が見つかった。早速注文して、代金は、銀行振り込みで先払いした。数日後、商品が届いたが、発送元は中国だった。開封してみると、バックの縫製も悪く、どう見ても正規品には見えなかった。すぐに返品したいとネットショップにメールしたが、返信がまったくなく、電話番号の記載もないので連絡しようがない。



インターネット通販で模倣品(偽ブランド品)が届いたという事例では、相談者のように連絡が取れないというケースがほとんどで、業者を確認しようとしても、サイトがネット上から消えていたということもあります。

また、日本語表記だったので、日本の業者だと思って注文したのに、商品は海外から届いており、そこで初めて海外サイトだったと気づくこととなります。相談者の例では、結局業者と連絡はとれず、返金もされませんでした。

便利で気軽に利用できるインターネットショッピングではありますが、相手の信用性については不明であり、十分に注意して利用しないと、相談者の例のようなトラブルにあう人が増えています。このようなトラブルを避けるために、インターネットショッピングを行う際には以下の点に注意してください。

1、購入前に必ず事業者情報を確認しましょう。

- ①安心して利用できるサイトであるか判断するため、所在地、連絡先、他の利用者の評価等をしっかり確認することが大切です。
通信販売の場合、「事業者の氏名又は名称、住所、電話番号」の記載が特定商取引法で義務付けられています。
- ②メールアドレスがフリーアドレスのサイトは、事業者として実在性が低いことが多いので気をつけましょう。所在地の記載があっても実在する住所かどうか地図サービス等を使って確認することも有効です。
- ③また、日本語表記のサイトでも海外事業者が運営していることがあるので、日本語の表記に不自然なところがあるサイトには注意が必要です。

2、商品選択に注意しましょう

- ①ブランド品などが、一般の流通価格より大幅に安く売られている場合は、模倣品である可能性があります。特に慎重に判断してください。
- ②模倣品は、ブランド保有者の商標権を侵害するものであり、このようなものを国内に持ち込むことはかたく禁じられています。また、今回

たまたま通関していますが、消費者が模倣品を海外に返品する行為は、権利侵害品の輸出となるため行ってはいけません。

③ブランドによっては、公式サイト内で模倣品販売サイトに関する情報を提供しているところもあるので、参考にしてください。

①カード決済の場合は、模倣品だったことをカード会社に申し出しましょう。

3、キャンセル、返品条件などを確認しましょう。

商品が、模倣品でなかった場合でも、注文したものと違った商品(色違い、サイズ違い)が届く等のトラブルにあうこともあります。キャンセル、返品に関する規定や利用規約は、必ず確認しましょう。

言語、法律、商習慣の異なる相手との取引である海外通販でのトラブルは、きわめて救済が難しいといえます。信頼できる業者を選んで、疑わしい商品には、決して手を出さないようにして、賢く利用しましょう。



© KANAGAWA2013